ツアー番号
LK4NFXXG43

野鳥と野生生物ツアー（11日間）

11日間・10泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この11日間のツアーは、野鳥観察家と野生生物観察家のために設計されており、西海岸の低地湿地からキトゥルガラとシンハラジャの熱帯雨林を通り、ウダワラウェとヤラの乾燥地帯公園、ヌワラエリヤ周辺の丘陵地、シギリヤ周辺の森林を経てネゴンボに戻ります。このルートはスリランカの主要な生態系を順番に網羅するように設計されており、沿岸のラグーンと低地の熱帯雨林から開放的な公園地、高地の森林、乾燥地帯のジャングルまで、島の固有鳥類と在来哺乳類に出会える現実的な機会を提供します。

てているため、森のトレイルと公園のトラックを十分に探索する時間があり、単に通り過ぎるだけではありません。

プライベート車両で英語を話すシャフェール兼ガイドと一緒に旅行し、選択したレベルのホテル付きでツアーを予約することも、輸送とガイダンスのみで予約することもできます。



日程詳細

1日目　到着 – ネゴンボ

空港に到着後、西海岸のネゴンボにあるホテルへ移動し、フライトの疲れを癒す時間をとります。

ネゴンボ・ラグーンと湿地帯

ネゴンボのラグーン、マングローブ林、周辺の湿地帯は、空港近くでのバードウォッチングに適した拠点となっています。観察が期待できる鳥にはBrown Hawk-Owl、Indian Scops Owl、Red-backed Flameback、Sri Lanka Swallow、Lesser Hill Mynaなどがあり、Brown MongooseやRuddy Mongoose、Indian Flying Foxといった哺乳類も見られます。

2日目 ネゴンボ → キトゥルガラ

キトゥルガラへ向かいます。白水ラフティングで知られる熱帯雨林地帯ですが、自然観察愛好家にとっても見どころの多いエリアです。

キトゥルガラの熱帯雨林

午後は、レストハウス付近から丸木舟で川を渡り、熱帯雨林へ足を踏み入れます。目標となる鳥にはCeylon Spurfowl、Serendib Scops Owl、Ceylon Junglefowl、Ceylon Frogmouth、Malabar Trogon、Ceylon Blue Magpie、Ceylon Hill Mynaなどがあり、哺乳類ではRed Slender Loris、Sri Lanka Giant Squirrel、Yellow-spotted Chevrotain、Sambarなどが見られます。

3日目 キトゥルガラ → シンハラジャ

ジープで短時間移動し、世界遺産かつ生物圏保護区であるシンハラジャへ入ります。ここにはスリランカ固有種の鳥の大部分が生息しています。



シンハラジャの熱帯雨林

終日、夕方までフォレストトレイルでのバードウォッチングを楽しみます。観察が期待できる鳥にはCeylon Spurfowl、Serendib Scops Owl、Red-faced Malkoha、Ashy-headed Laughingthrush、White-faced Starling、Ceylon Blue Magpieなどがあり、Red Slender Loris、Sri Lanka Giant Squirrel、Yellow-spotted Chevrotainなどの哺乳類も生息しています。

Dan Lundberg · CC BY-SA 2.0

4日目 シンハラジャ → ウダワラウェ

ウダワラウェへ移動し、昼頃にはホテルにチェックインします。午後は国立公園での観察に充てます。



ウダワラウェ国立公園

ジープサファリでは、開けた園地を巡ります。この地域には猛禽類や渡りの水鳥に加え、Ceylon SpurfowlやBrown-capped Babblerといった固有種も見られます。その他、Crested Hawk-Eagle、Malabar Pied Hornbill、Lesser Adjutantなどの記録もあり、哺乳類ではAsian Elephant、Golden Jackal、Jungle Catが生息しています。

AntanO · CC BY-SA 4.0

5日目 ヤーラ（5〜6日目）

ティッサマハラーマへ移動し、2連泊のホテルにチェックイン。両日ともインド洋沿岸のヤーラ国立公園でのサファリに充てます。



ヤーラ国立公園

ヤーラは世界でも有数のヒョウの生息密度を誇り、約215種の鳥類が記録され、重要野鳥生息地（IBA）にも指定されています。経験豊富なナチュラリストとともに2日間かけて探訪します。観察対象の鳥にはBlack-necked Stork、Spot-billed Pelican、Lesser Adjutantなどがあり、哺乳類ではLeopard、Sloth Bear、Asian Elephant、Sambar、Chital、Rusty-spotted Catなどが見られます。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

7日目 ヌワラエリヤ（7〜8日目）

高地のヌワラエリヤへ上り、2連泊のホテルにチェックイン。バードウォッチングは高地固有種に焦点を当てます。



ビクトリア公園

町の中心部にあるこの公園を夕方に訪れ、Indian Pitta、Pied Thrush、Kashmir Flycatcherなど高地特有の鳥を探します。

Sandunruki at English Wikipedia · CC BY 3.0

ヌワラエリヤの高地

2日目は終日、周辺の丘陵地帯でYellow-eared Bulbul、Ceylon Whistling Thrush、Ceylon Wood Pigeon、Dull-blue Flycatcher、Ceylon Bush Warblerなどの鳥を探します。哺乳類ではPurple-faced Leaf MonkeyやSri Lanka Giant Squirrel（いずれも高地亜種）、Golden Palm Civetなども見られます。

9日目 ヌワラエリヤ → シギリヤ

シギリヤへ向かい、ダンブッラで昼食をとった後、午後はシギリヤの森で過ごします。

シギリヤの森

午後の散策では、森の鳥やその他の野生動物を探します。観察が期待できる種にはForest Eagle-Owl、Brown Fish Owl、Indian Pitta、Orange-headed Thrush、White-rumped Shamaなどがあり、哺乳類ではGrey Slender Loris、Brown Palm Civet、Rusty-spotted Catなどが見られます。

10日目 シギリヤ → ネゴンボ

最後の朝、シギリヤの森を散策した後、ネゴンボへ戻り最終夜を過ごします。

シギリヤの森

出発前の最後の森歩きで、鳥やその他の野生動物を探します。

11日目 出発

朝食後、チェックアウトしてバンダラナイケ国際空港へ移動し、出発します。これでツアーは終了となります。

Lakpura® · 料金・オプション・ご予約： www.lakpura.com/ja/products/birds-and-wildlife-tour-11-days
hello@lakpura.com · +94 11 574 7474